

研究所図書室だより 2014年12月



発行：浦添市立教育研究所 TEL:098-876-7522 FAX:098-876-7222 MAIL:uraken5@urasoe.ed.jp(図書司書あて)



月刊誌12月号記事 PICK UP!!



『月刊教職研修』

もう、ためられない
学校の通告・通報義務



『月刊学校教育相談』

日常の「あいさつ」が持つ力



『総合教育技術』

現地レポート&キーパーソン
インタビュー
急上昇 沖縄県

※その他の月刊誌については、研究所ホームページでも紹介しています。『切抜き速報教育版』、隔月刊誌『特別支援教育の実践情報』、週刊誌『教育資料』の記事については、随時ブログにて紹介予定です。

こんにちは、研究所図書室の知花です。

気温もぐっと下がり、冬らしくなってきました。暖かくした部屋で本を読みながら、体も心もゆっくり休ませてくださいね。



「聞く力」を育てるには



今回は、今年の『児童心理』12月号の特集「聞く力」を育てる」の一部を紹介します。

「言葉を自由に使えない子どもは、自在に思いを伝えることはできない。しかし、周りの動きや働きかけに対して敏感であり、(略)聞いた言葉の意味を理解しようと非言語的な動きなどに敏感に反応して、相手の意味を探る」

大人になると、この力は衰えてしまうそうです。聞く力の維持のためのポイントを、簡単にまとめました。詳細はぜひ手にとってお読みいただければと思います。(貸出しできます!)

①人に関心をもつ

相手に対する好奇心をもつこと。

②先入観で相手を決めつけない

人は常に成長し、変化している。

③自分の思いを横に置く

自分の心に相手の思いを入れる。

④議論・正解志向から脱する

対話のTPOを身につける。

⑤「違い」を「間違い」にしない

新たな視点を確保する。

⑥あまり親切にならない

話を聞くとアドバイスや助けを求めていると受け止めがちになり、自分の答え方に気をとられてしまう。



新着図書のご案内



☆『ドミトリーともきんす』高野文子

「“科学する人たち”がいかにして科学の花を咲かせたか——彼らの視線のゆくえを、ノートや黒板の計算の跡を、そしてその言葉をたどること。(略)わたしたちはそこから何を知り、気づき、立ち止まるのだろうか。」

☆『これだけは知っておきたい『学び合い』の基礎・基本』三崎隆

「『学び合い』の考え方による授業を受けた子どもたちが、20年後の未来に

おいて、どのような人材になって活躍してほしいのか、『学び合い』の考え方による授業を受けた子どもたちにとってどのような社会を築き上げてほしいのか、を示していることでもあります。」

今月も最後まで図書室だよりを読んでもくださりありがとうございました。

あっという間の1年でしたが、来年も、研究所図書室のご利用をよろしくお願いいたします。(知花)

この図書室だよりは、Microsoft Wordのテンプレート「ニュースレター」と、研究所ホームページに紹介されている素材サイトを利用してつくられています。(浦添市立教育研究所 HP→<http://urasoe.ed.jp/uraken/>)